

平成 30 年度 第 10 回 政策決定会議 会議録①

-
- ◆開催日時:平成 31 年1月 29 日(火) 9:02~9:14
 - ◆開催場所:市長公室
 - ◆出席委員:永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長
-

◆審議事項

・産業会館のあり方について……………産業政策課⇒承認

◆審議概要

『産業会館のあり方について』

〈説明者〉大西魅力創造部長、池内産業政策課長、公文担当長、藤浪担当員

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案のとおり承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容を説明。

◎説明後、質疑応答

本審議事項については、公開により事務の公正かつ適正な執行に著しい支障をおよぼす恐れがあるため、審議内容は非公開とする。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

平成 30 年 12 月 13 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長 大西 吉之助

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	産業会館のあり方について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	産業会館については、施設稼働率の低下及び設備の老朽化による将来の費用負担が懸念される。また、市内施設での代替機能が備わっている状況であることから、歳出の削減と産業振興施策の重点化を図る。
説明者	大西 魅力創造部長 池内 産業政策課長 公文 商工振興担当長 藤浪 商工振興担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	平成30年度 第10回会議
付議事項	産業会館のあり方について

★取組の目的

対象	産業会館
どのような状態を目指す	歳出削減をはかり、将来にわたり継続的な産業振興施策を実施する。

★総合計画上の位置付け

106040101	基本目標	I-6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(4)経済活動が活発に行われている
	目指す成果	①多様な資源を活かしあい、市内の事業所に活気がある
	行政の役割	ア 地域のポテンシャルを活かした取組が行える環境を整える

★現状と課題

産業会館の稼働率は現在低く、また当初の設置目的に沿った利用者は減少しており、公的な機関等の会議室としての側面が強くなっている。また、施設の老朽化による設備等のメンテナンスに莫大な費用がかかることが予想される。一方で、市内他の公共施設において代替機能は十分果たせるものと考えられる。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
産業会館指定管理料	17,791	17,791	17,791	17,956	18,121			
修繕料	104	577	700	1,404	700			
使用料及び賃借料	5,397	5,397	5,397	64	60			
負担金		272	362	1,860	1,860			
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費			計	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			42,025	21,284	20,741	0	0	0
	ng	ng	ng	ng	ng			

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
					H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。